

謹賀新年

皆様あけましておめでとうございます。

穏やかな正月をお迎えになったこととお慶び申し上げます。昨年も大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

昨年日本経済は、ついにマイナス金利が終わり金利のある世界に戻りました。本年の景気は引き続きゆるやかに持ち直すとの予測が多く、日銀の金利の引き上げも予測されています。アメリカのトランプ大統領の予測し難い政策や外国為替の動向で物価が上昇する懸念もあります。いずれにしても各企業は、物価上昇・人員採用難等への対応に一層組まなければならない年になると考えます。他方、所得税の「給与収入103万円の壁」の改正を契機に、働く機会を増やす方が増えれば企業活動にプラスになると期待します。社会保険料の負担のあり方について見直しの議論が深まることも期待したいです。

ところで、昨年9月に国税OBである桃谷税理士を弊事務所に迎えました。最前線で培った税務と事業理解の深さを様々な場面で発揮してもらい、皆様のお役に立てるよう一層尽力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

公認会計士・税理士 植村 義弘

昨年は皆様方に大変お世話になりました。本年も引き続き宜しくお願い致します。

ここ数年、社会活動が活発になる一方で、相変わらず不安定な世界情勢の影響を受けて各種物価変動が一層大きくなっています。また、国内では少子高齢化の影響が顕著になりつつあり、希望する人員の採用も難しくなってきました。そのため今後、事務業務全般で効率化・DX化がより進んでいくものと予想され、会計事務所としても効率化を進めるとともに、会計業務関連で対応が求められる事項について、皆さま方の一助となるよう活動してまいります。

公認会計士・税理士 大倉 然

国税職員として36年間勤務した後、昨年9月に入所しました。国税の職場では、中小企業から大企業に至る様々な業種業態の法人に対する税務調査を主に担当してきました。これらの経験と知識を活かすとともに尚一層の自己研鑽を重ね、クライアントの皆様の適正な会計・税務のご支援を通じて、健全経営と企業発展に貢献できるよう努めてまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

税理士 桃谷 茂行

